

受 験 番 号

平成30年度 准看護師試験問題

日 時 平成31年 2月 6日 13時00分～15時30分

注 意 事 項

中は試験問題ですから指示があるまで開いてはいけません。

- 1 解答は、答案用紙に記入してください。
- 2 問題は全部で 150 題あり、1 ページから 31 ページあります。
- 3 時間は 2 時間 30 分です。
- 4 問題の正解はすべて 1 つです。4 つの選択肢の中から 1 つを選び、次の例にならって答案用紙に記入してください。

【問題 100】の正解が 3 であれば、答案用紙のその番号のところをマーク (●) してください。次のようになります。

問題 100 (1) (2) (●) (4)

マーク { 良い解答の例 …… (●)

 { 悪い解答の例 …… (~~1~~) (~~2~~) (~~3~~) (~~4~~) (8) (~~3~~) (~~3~~) (●)

- 5 答案用紙への記入は、HB 鉛筆を用いてください。誤りを発見したら、マークをつけ直してもかまいません。消しゴムできれいに消してから新たにマークしてください。
- 6 答案用紙は、折り曲げたりメモやチェック等でごしたりしないように特に注意してください。

山 形 県

[問題 1]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 胸椎は、8 個の椎骨からなる。
- 2 黄色骨髄は、造血のはたらきをする。
- 3 成人の骨格は、100 余りの骨からなる。
- 4 骨は、カルシウムの貯蔵に関わる。

[問題 2]

次のうち、血漿に含まれるのはどれか。

- 1 血小板
- 2 白血球
- 3 赤血球
- 4 アルブミン

[問題 3]

次のうち、動脈血が流れる血管はどれか。

- 1 門脈
- 2 肺動脈
- 3 肺静脈
- 4 大静脈

[問題 4]

次のうち、吸息時の状態について正しいのはどれか。

- 1 胸腔内は、陽圧である。
- 2 横隔膜は、収縮している。
- 3 外肋間筋は、弛緩している。
- 4 内肋間筋は、収縮している。

[問題 5]

次のうち、嚥下について誤っているのはどれか。

- 1 唾液は、食物に水分を与えて嚥下しやすくする。
- 2 食物は、口腔から喉頭、さらに食道へと移動する。
- 3 喉頭蓋は、気管と食道との交通を遮断する。
- 4 食物は、蠕動運動によって食道内を移送される。

[問題 6]

次のうち、体温調節の中樞はどれか。

- 1 中脳
- 2 小脳
- 3 延髄
- 4 視床下部

[問題 7]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 腎小体は、腎臓の皮質にある。
- 2 腎小体は、糸球体と糸球体嚢（ボウマン嚢）とからなる。
- 3 ネフロンは、腎小体とそれに続く尿細管からなる。
- 4 輸入細動脈は、糸球体に入り、集合管となって糸球体から出る。

[問題 8]

次のうち、下垂体後葉から分泌されるホルモンはどれか。

- 1 成長ホルモン
- 2 プロラクチン
- 3 抗利尿ホルモン
- 4 甲状腺刺激ホルモン

[問題 9]

次のうち、味覚に関係するのはどれか。

- 1 滑車神経
- 2 顔面神経
- 3 内耳神経
- 4 副神経

[問題 10]

栄養素の欠乏によって起こる疾患について、誤っている組合せはどれか。

- | | | | |
|---|-----|-------|--------------------|
| 1 | くる病 | ————— | ビタミンD |
| 2 | 脚気 | ————— | ビタミンB ₂ |
| 3 | 夜盲症 | ————— | ビタミンA |
| 4 | 壊血病 | ————— | ビタミンC |

[問題 11]

食事療法について、誤っているのはどれか。

- 1 高尿酸血症では、アルコール、プリン体を多く含む食品を控える。
- 2 高血圧症の患者の食事療法の基本は、食塩制限である。
- 3 急性膵炎の食事療法の原則は、脂質制限と禁酒である。
- 4 うっ血性心不全の患者の食事療法の基本は、減塩、高エネルギー食である。

[問題 12]

次のうち、必須アミノ酸でないものはどれか。

- 1 バリン
- 2 フェニルアラニン
- 3 アスパラギン酸
- 4 ロイシン

[問題 13]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 クロロヘキシジングルコン酸塩は、ウイルスに有効である。
- 2 フェノール類は、結核菌などの抗酸菌の消毒に有効である。
- 3 逆性石けんは、普通の石けんと併用することで効力が増強する。
- 4 エタノールは、芽胞の消毒に有効である。

[問題 14]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 薬物の有効濃度の範囲が広い場合には、治療薬物（薬物血中濃度）モニタリング（TDM）を行う必要がある。
- 2 高齢者では、若年成人に比べて薬物の副作用の発現率が低くなる。
- 3 妊婦では、胎盤があるので薬物が胎児へ移行しない。
- 4 直腸から吸収された薬物は、肝臓での初回通過効果を受けない。

[問題 15]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 ワルファリンの使用中は、効果をよくするためにビタミンKを内服するとよい。
- 2 アスピリンの抗血小板作用は不可逆的なので、血小板寿命の間、効果が持続する。
- 3 クエン酸ナトリウムは、試験管内で血液凝固を阻止する。
- 4 ヘパリンの作用は、硫酸プロタミンにより拮抗される。

[問題 16]

循環器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 狭心症による胸痛は、一過性である。
- 2 拡張型心筋症では、心室の壁が厚くなる。
- 3 感染性心内膜炎の原因菌として、黄色ブドウ球菌やレンサ球菌がある。
- 4 腹部大動脈瘤の原因には、動脈硬化がある。

[問題 17]

脳神経疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 くも膜下出血は、脳動脈瘤の破裂によることが多い。
- 2 膠芽腫は、小児の小脳に好発する悪性腫瘍である。
- 3 アルツハイマー病では、大脳皮質の萎縮がみられる。
- 4 筋萎縮性側索硬化症では、運動神経が障害される。

[問題 18]

消化器疾患について、正しいのはどれか。

- 1 胃潰瘍は、ヘリコバクター・ピロリ感染と関連する。
- 2 線維の増生を伴う硬がん（スキルス胃がん）は、予後が良好である。
- 3 潰瘍性大腸炎では、縦走潰瘍が特徴的である。
- 4 大腸がんは、上行結腸に発生することが多い。

[問題 19]

呼吸器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 肺の扁平上皮がんや小細胞がんは、喫煙と関連する。
- 2 慢性閉塞性肺疾患（COPD）では、1秒率が増加する。
- 3 中皮腫は、アスベスト曝露と強い関連がある。
- 4 気管支喘息の発作では、気管支が収縮する。

[問題 20]

次のうち、誤っている組合せはどれか。

- 1 尿崩症 ————— 抗利尿ホルモンの分泌低下
- 2 アジソン病 ————— コルチゾールの分泌低下
- 3 1型糖尿病 ————— インスリンの分泌低下
- 4 バセドウ病 ————— 甲状腺ホルモンの分泌低下

[問題 21]

腫瘍について、誤っているのはどれか。

- 1 良性腫瘍は、浸潤性に増殖する。
- 2 肉腫とは、非上皮性の悪性腫瘍である。
- 3 転移には、血行性、リンパ行性、播種性がある。
- 4 がんの進行度の評価には、TNM分類が用いられる。

[問題 22]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 免疫には、自然免疫と獲得免疫がある。
- 2 ヒトの免疫グロブリンには、I g A、I g E、I g D、I g G、I g Mの5つがある。
- 3 好中球は、食細胞としての機能を持っている。
- 4 抗体を産生する細胞である形質細胞は、T細胞が分化したものである。

[問題 23]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 結核は、感染症法で定められた1類感染症である。
- 2 結核菌は、マクロファージに貪食されてもその中で増殖することができる。
- 3 結核菌の染色には、抗酸性染色法を用いる。
- 4 結核は、多剤併用するのが標準的治療である。

[問題 24]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 梅毒は性交渉によって感染する。
- 2 アデノウイルスは、咽頭結膜熱（プール熱）の原因となる。
- 3 淋菌感染症は感染後、女性では尿道炎などの症状がみられるが、男性では無症状である。
- 4 H I V感染では急性感染期にインフルエンザ様症状が現れる。

[問題 25]

日本看護協会の「看護者の倫理綱領」について、誤っているのはどれか。

- 1 専門職として引き受ける責任の範囲を社会に明示したものである。
- 2 リスボン宣言の倫理綱領を翻訳したものである。
- 3 看護者は、看護者自身の健康の保持増進に努める。
- 4 看護者は、環境の問題について社会と責任を共有する。

[問題 26]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 インフォームドコンセントでは、医療従事者から患者への十分な説明が必要である。
- 2 ニュルンベルグ綱領は、医療における人権の問題を明文化している。
- 3 現行の臓器移植法では、脳死後の小児からの臓器提供が可能である。
- 4 パターナリズムとは、患者の決定権を尊重することをいう。

[問題 27]

ストレスについて、誤っているのはどれか。

- 1 ストレスの感じ方や対処方法には個人差がある。
- 2 防衛機制とは、ストレスに対応していくための心の働きである。
- 3 生物学的ストレスとは、化学的な物質や薬物などによる外的な刺激をいう。
- 4 ショック相では、体温・血圧・血糖値の低下がおこる。

[問題 28]

フィンクの危機モデルについて、誤っているのはどれか。

- 1 危機的な状態における、患者の心理を表したものである。
- 2 衝撃の段階から始まる。
- 3 防衛的退行の段階がある。
- 4 適応の段階を経て承認の段階となる。

[問題 29]

マズローの基本的欲求（ニード）について、誤っているのはどれか。

- 1 人間の行動を動機づける欲求は、5つの階層に分類される。
- 2 生理的欲求とは、人が生命を維持するための最も低次の階層である。
- 3 欠乏欲求とは、自己実現の欲求から安全の欲求までの階層をいう。
- 4 低次の階層の欲求が満たされると、より高次の階層の欲求が現れる。

[問題 30]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 国民皆保険制度は、すべての国民が各種ある医療保険のいずれかに加入する制度である。
- 2 後期高齢者医療制度により、75歳以上の被保険者の医療費の本人負担は2割である。
- 3 日本の人口は、将来1億人を割ると推計されている。
- 4 合計特殊出生率がおよそ2を割ると、将来人口が減少する。

[問題 31]

介護保険について、誤っているのはどれか。

- 1 介護給付は、要介護者と認定された被保険者が利用できる。
- 2 第1号被保険者は、75歳以上の者である。
- 3 要介護認定は、市町村に設置される「介護認定審査会」で行われる。
- 4 介護サービス計画（ケアプラン）の作成を行う機関は、「居宅介護支援事業者」である。

[問題 32]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 看護職の免許を得たのち、氏名などに変更を生じたときは、30日以内に籍の訂正を申請する。
- 2 保健師助産師看護師法には、保健師・看護師・准看護師は正当な理由がなく、業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならないと規定されている。
- 3 病院は、看護記録を2年間保存しておかねばならない。
- 4 保健所の設置は、健康増進法によって定められている。

[問題 33]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 予防接種法における定期の予防接種には、H i b ワクチンがある。
- 2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律における入院形態の1つに、強制入院がある。
- 3 労働基準法では、労働時間は、休憩時間を含め1日について8時間、1週間について40時間を超えてはならない。
- 4 老人福祉法による老人福祉施設には、有料老人ホームがある。

[問題 34]

看護理論家の看護のとらえ方について、正しい組合せはどれか。

- a S・C・ロイ ————— 患者の自立を促すよう援助することである。
- b D・E・オレム ————— 人間がセルフケア能力を高めるよう支援することである。
- c V・ヘンダーソン ————— 患者の生命力の消耗を最小にするよう整えることである。
- d H・E・ペプロウ ————— 患者と看護者との有意義で治療的な人間関係プロセスである。

- 1 aとb
- 2 aとc
- 3 bとd
- 4 cとd

[問題 35]

プライマリ・ナーシングについて、正しいのはどれか。

- 1 看護業務別に看護師の分担を決めて行う方式である。
- 2 数人の患者に対し、数人の看護チームを組んでケアする方式である。
- 3 1人の看護師が、患者の入院から退院までの看護を一貫して受けもつ方式である。
- 4 1看護単位内に2つ以上のチームを編成し、チームで一定期間、担当患者の入院から退院までの一貫した看護を行う方式である。

[問題 36]

世界保健機関（WHO）による健康の定義について、正しいのはどれか。

- 1 すべての人々が有する基本的権利である。
- 2 単に疾病がないことである。
- 3 身体的健康が最も重要である。
- 4 身体的、精神的に完全に良好な状態である。

[問題 37]

人間の成長・発達について、誤っているのはどれか。

- 1 人間の成長・発達の速度は一定である。
- 2 人間の発達は、からだの中心から末梢部へと進む。
- 3 エリクソンは、人間の心理社会的な発達段階を8つに区分している。
- 4 ハヴィガーストは、個人の学ぶべき発達課題について6つに区分している。

[問題 38]

平成30年（2018年）4月現在の、看護師学校養成所2年課程（通信制）の入学資格に必要な准看護師の業務経験年数はどれか。

- 1 3年以上
- 2 5年以上
- 3 7年以上
- 4 10年以上

[問題 39]

コミュニケーションについて、誤っているのはどれか。

- 1 傾聴は、熱心に耳を傾けることを意味する。
- 2 開かれた質問とは、答えが「はい」か「いいえ」である。
- 3 会話中の身ぶりや表情は、非言語的コミュニケーションに分類される。
- 4 相手の状況に応じて、空間距離をうまく使うことが重要である。

[問題 40]

観察について、誤っているのはどれか。

- 1 観察は、患者と出会ったときから始まる。
- 2 患者から得られる情報には、主観的情報と客観的情報がある。
- 3 観察には、問診、視診、聴診、触診、打診がある。
- 4 客観的な裏付けがない情報は、直感的に何か変だと感じてでも重視しない。

[問題 41]

バイタルサインについて、正しいのはどれか。

- 1 脈拍数は、精神的緊張によって減少する。
- 2 頻呼吸は、呼吸リズムの異常を示す呼吸である。
- 3 腋窩検温では、腋窩に汗をかいていると測定値が低くなる。
- 4 橈骨動脈の触診法による血圧測定では、拡張期血圧を測定できる。

[問題 42]

身体測定について、誤っているのはどれか。

- 1 体重は、立位が困難な場合には測定できない。
- 2 胸囲は、呼吸運動で生じる誤差に注意して測定する。
- 3 腹囲は、仰臥位の場合には膝を伸展させ測定する。
- 4 握力は、測定値をkg単位で記録する。

[問題 43]

看護記録について、正しいのはどれか。

- 1 構成要素は、基礎情報、看護計画、経過記録の3つである。
- 2 看護職が記載したフローシートは、診療録に位置づけられる。
- 3 ケアの実施後、時間を置いてよく考え、事実を正確に書き留める。
- 4 診療報酬上の要件を満たしていることを証明する資料になる。

[問題 44]

看護過程について、誤っているのはどれか。

- 1 アセスメントガイドは、情報を収集し整理するのに役立つ。
- 2 関連図は、患者の全体像及び看護問題を明確にするのに役立つ。
- 3 看護者が行う清拭の具体策は、教育計画に分類して記載する。
- 4 評価は、介入計画に基づく看護援助の効果を判定することである。

[問題 45]

環境について、誤っているのはどれか。

- 1 医療法施行規則により、病床面積は患者1人あたり5.0m²以上と規定されている。
- 2 病床環境は、安全・安楽に療養できるよう整備しなければならない。
- 3 病室内の湿度は40～60%が快適とされる。
- 4 療養施設のある地域では、夜間の騒音基準は40デシベル以下と規定されている。

[問題 46]

感染について、正しいのはどれか。

- 1 標準予防策（スタンダードプリコーション）とは、特定の患者に対して講じる感染予防策である。
- 2 標準予防策（スタンダードプリコーション）では、血液、汗、分泌物の3つを感染源として扱う。
- 3 感染の成立は、感染源、病原性、感染経路の3要素がそろった場合に起こる。
- 4 器具に付着した病原体は、消毒または滅菌を行い除去する。

[問題 47]

ボディメカニクスの原則について、誤っているのはどれか。

- 1 患者の身体を小さくまとめる。
- 2 身体を安定させるために、支持基底面を広くする。
- 3 患者を水平移動させる場合は、トルクの原理を活用する。
- 4 重心は低い方が安定性がよい。

[問題 48]

次のうち、正しい組合せはどれか。

- a 看護師は、患者の安楽を妨げる原因を把握し、それを取り除くような援助を行う。
- b 長座位は上半身に支えがなく不安定なため、腰部や殿部への負荷が大きい。
- c 患者をストレッチャーに乗せて斜面を下るときは、進行方向に患者の頭を向け、頭から進む。
- d 長時間の同一体位は、安楽の阻害因子とならない。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 49]

衣生活の援助について、正しいのはどれか。

- 1 病衣は、通気性はなくてもよい。
- 2 左上肢に障害がある患者の寝衣交換では、左から脱がせ右から着せる。
- 3 寝衣交換を手早く行うために、患者の自立度は確認しない。
- 4 和式の寝衣は、左前身頃（身ごろ）が上になるように着せる。

[問題 50]

食事について、正しいのはどれか。

- 1 自助具のにぎりは、細くして握りやすくする。
- 2 胃食道逆流を防ぐために、食後 10 分は上半身を起こした体位にする。
- 3 食事の前は、排尿・排便をすませる。
- 4 病院食には、治療食として常食、全粥、五分粥、流動食がある。

[問題 51]

排泄について、誤っているのはどれか。

- 1 自然な排便を促すには、排便の習慣化と食習慣を整えることが必要である。
- 2 便秘時には、腹部をマッサージすることで排便が促される。
- 3 健康な成人の 1 日の排尿量は、2,500～3,000mL である。
- 4 健康な成人は、膀胱内の貯尿量 150～300mL になると尿意を感じる。

[問題 52]

清潔の援助について、誤っているのはどれか。

- 1 清拭により血液循環が促進される。
- 2 清拭時、洗面器に準備する湯の温度は 38～40℃である。
- 3 口腔ケアは、う歯（むし歯）や歯肉炎の予防だけでなく、誤嚥性肺炎の予防にもつながる。
- 4 陰部洗浄では、羞恥心を感じさせないよう配慮が必要である。

[問題 53]

睡眠について、誤っているのはどれか。

- 1 人間の覚醒と睡眠には概日リズム（サーカディアンリズム）がある。
- 2 睡眠にはノンレム睡眠とレム睡眠がある。
- 3 急速な眼球運動を伴う睡眠はノンレム睡眠である。
- 4 睡眠を妨げる原因を観察し、質のよい睡眠をとれるよう援助する。

[問題 54]

診察の介助について、誤っているのはどれか。

- 1 腹部の診察時は、患者を仰臥位にして膝を立てて行う。
- 2 口腔の診察時は、舌圧子・ペンライトを準備する。
- 3 背部、腰部の診察時は、仰臥位で行う。
- 4 患者のプライバシーを保つために、カーテンやスクリーンをする。

[問題 55]

与薬について、誤っているのはどれか。

- 1 誤薬予防のために、1患者1トレイで薬剤を準備する。
- 2 坐薬を挿入するときは、患者を右側臥位にする。
- 3 点眼後は、眼を閉じてもらい目頭を軽く押さえる。
- 4 バッカル錠は、飲み込まないように説明する。

[問題 56]

罨法について、誤っているのはどれか。

- 1 温罨法は、血管の拡張により血流量を増加させる。
- 2 ゴム製の湯たんぽに使用する湯の温度は、80℃である。
- 3 冷罨法は、炎症による腫脹や疼痛を抑える。
- 4 冷罨法は、循環不全（循環障害）のある患者には禁忌である。

[問題 57]

経管栄養法について、誤っているのはどれか。

- 1 嚥下障害のある患者は、経管栄養法の対象である。
- 2 胃瘻は、栄養管理が長期間必要な場合に選択される。
- 3 経管栄養チューブの挿入による危険な合併症は、気管への誤挿入である。
- 4 口腔を用いて栄養素を取り入れていないため、口腔ケアは行わない。

[問題 58]

中心静脈栄養法について、誤っているのはどれか。

- 1 高エネルギー栄養剤を点滴することができる。
- 2 カテーテル挿入時は、無菌操作で行う。
- 3 鎖骨下静脈からカテーテルを挿入する場合は、先端を下大静脈に留置する。
- 4 消化管を使用しないで、栄養を補給することができる。

[問題 59]

注射について、正しいのはどれか。

- 1 皮内注射は、前腕の外側に行う。
- 2 筋肉内注射は、神経や血管の分布の多い部位に薬剤を注入する。
- 3 静脈内注射は、皮下注射と比べて薬物の吸収速度が速い。
- 4 注射後の注射針は、針刺し事故防止のためにリキャップする。

[問題 60]

輸血について、誤っているのはどれか。

- 1 輸血ルートは、輸血単独で使用する。
- 2 輸血の準備と実施時は、チェック項目を複数名で確認する。
- 3 輸血開始後 5 分程度は、患者の側を離れないで急性反応を観察する。
- 4 新鮮凍結人血漿の保存期限は、採血後 21 日間である。

[問題 61]

グリセリン浣腸の実施方法について、正しいのはどれか。

- 1 浣腸液は、直腸温を考慮し 36～37℃に温める。
- 2 実施する際の患者の体位は、立位で行う。
- 3 カテーテルを挿入する際には、腹圧がかからないよう鼻で呼吸をするよう促す。
- 4 成人の場合のカテーテル挿入の長さは、肛門管の長さを考え 5 cm 程度とする。

[問題 62]

導尿の実施や管理について、誤っているのはどれか。

- 1 滅菌手袋を装着して実施する。
- 2 カテーテル挿入時の陰茎の角度は、最初は 90 度とする。
- 3 持続的導尿の際、陰茎を頭側に向けた状態でカテーテルを固定する。
- 4 持続的導尿中の患者がシャワー浴をする場合には、接続部から蓄尿バッグをはずす。

[問題 63]

胃洗浄実施時の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 洗浄液の温度は 37～38℃とする。
- 2 患者の体位は仰臥位とする。
- 3 洗浄液の 1 回の注入量は、200mL 程度である。
- 4 処置中は、患者の顔色や脈拍、排出液への血液混入の有無などを観察する。

[問題 64]

穿刺時の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 骨髄穿刺は、強い圧迫感や痛みを伴うため、事前に十分な説明を行う。
- 2 腰椎穿刺時には、側臥位で背すじを伸ばすように患者の体位を整える。
- 3 胸腔穿刺時には、胸痛や呼吸困難の出現に注意する。
- 4 腹腔穿刺の前後には、腹囲の測定をする。

[問題 65]

吸入について、正しいのはどれか。

- 1 ベンチュリーマスクは、吸入する酸素濃度の調整が可能である。
- 2 酸素吸入を行うときは、流量計の調節つまみを開放してから酸素ポンベのバルブを開く。
- 3 酸素吸入時に加湿をする場合は、生理食塩液を用いる。
- 4 ジェットネブライザーを用いると、薬液が肺胞まで届く。

[問題 66]

吸引について、誤っているのはどれか。

- 1 気道内の一時的吸引では、陰圧をかけている時間は10秒以内とする。
- 2 気道分泌物は、カテーテルを回転させながら吸引する。
- 3 胸腔内持続吸引中は、水封室の液面が呼吸に伴い上下移動しないことを確認する。
- 4 胸腔内持続吸引中は、ドレーンバッグの位置をドレーン挿入部より高くしてはならない。

[問題 67]

包帯法について、誤っているのはどれか。

- 1 包帯法の目的には、被覆、支持、固定、圧迫、牽引などがある。
- 2 手術時などに下着のかわりに用いられるT字帯も、包帯材料の一つである。
- 3 亀甲帯は、前腕や下腿のように太さに変化がある部位に用いる。
- 4 上肢の支持のために三角巾を用いる際には、三角巾の底辺が体幹に平行になるようにする。

[問題 68]

診療に用いられる物品の取り扱い方について、正しいのはどれか。

- 1 ディスポーザブル製品には使用期限がない。
- 2 1度使用したディスポーザブル製品は、必ず破棄する。
- 3 ゴム製品は、高温では硬化してもろくなる。
- 4 金属製品の使用後は、次に滅菌するまで水に漬けて保管する。

[問題 69]

痛みのある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 痛みのレベルは、評価尺度（ペインスケール）で把握する。
- 2 痛みのあるときには、最も安楽な体位がとれるようにする。
- 3 がん性の疼痛は、モルヒネなどの麻薬を使用して緩和を図る。
- 4 急性の炎症を伴う局所の痛みには、温罨法を用いる。

[問題 70]

JRC（一般社団法人日本蘇生協議会）蘇生ガイドライン 2015 による一次救命処置（医療従事者用）について、誤っているのはどれか。

- 1 患者の反応がない場合は、その場を離れず大声で応援を呼ぶ。
- 2 胸骨の下半分に両手を重ねて、7 cm 以上へこむように圧迫する。
- 3 胸骨圧迫は、1 分間 100～120 回のテンポで行う。
- 4 胸骨圧迫と人工呼吸を行う場合は、30：2 の割合で行う。

[問題 71]

脱水のある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 水欠乏性脱水（高張性脱水）では尿量が増加するので、尿量の変化を観察する。
- 2 急速な輸液は心臓や腎臓への負担が生じるため、注入速度を管理する。
- 3 水や経口補水液などを、少量ずつこまめに飲むように指導する。
- 4 水分出納バランスを把握する。

[問題 72]

手術前オリエンテーションについて、誤っているのはどれか。

- 1 予定されている手術日時について説明する。
- 2 手術後合併症予防のための訓練を行う。
- 3 手術後の状態については説明を避ける。
- 4 家族の面会方法について説明する。

[問題 73]

ショック状態にある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 体位変換や移動が必要なときには、循環動態の変動に留意しながら行う。
- 2 体位は上半身を挙上したファーラー位（ファウラー位）とする。
- 3 重篤な病態に備え、観察を行う。
- 4 意識があるときには、言葉がけを行うことで、精神的な安定を図る。

[問題 74]

輸液について、正しい組合せはどれか。

- a 医師の指示により実施する。
- b 高エネルギーの輸液は、末梢から実施する。
- c 静脈炎の早期発見のため、疼痛や発赤の有無を観察する。
- d 点滴中は転倒防止のため、トイレや歩行を制限する。

1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 75]

呼吸困難のある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 排便時のいきみは呼吸困難を増強するため、排便コントロールを行う。
- 2 効果的な呼吸ができるように、腹式呼吸や口すばめ呼吸を指導する。
- 3 楽に呼吸ができるように、仰臥位にする。
- 4 呼吸困難が強い時には、そばにいて安心感を与える。

[問題 76]

嚥下困難のある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 食事の前に、舌・顎などの運動やマッサージを行う。
- 2 誤嚥しないように、頸部が伸展する体位に整える。
- 3 スプーンでの食事介助は、1回量を調整しながら行う。
- 4 食後は、口腔内に食物が残らないように口腔内を清潔にする。

14. 成人看護概論（3題）

[問題 77]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 急性期の患者の援助では、プライバシーや人権に配慮した関わりが必要である。
- 2 慢性疾患のある患者の援助では、患者の気持ちを理解し、話しをよく聞くことが必要である。
- 3 リハビリテーション過程にある患者は、回復の成果を喜べるよう1人で努力する必要がある。
- 4 終末期にある患者は、最期の時までその人らしく過ごせるように援助する必要がある。

[問題 78]

エリクソンの発達課題について、正しいのはどれか。

- 1 青年期のネガティブな面の発達課題は、孤立である。
- 2 前成人期または成人初期のポジティブな面の発達課題は、アイデンティティの確立である。
- 3 成人期または壮年期のネガティブな面の発達課題は、停滞である。
- 4 青年期の発達課題で得られる人間の強さは、適格意識である。

[問題 79]

青年期の特徴について、正しいのはどれか。

- 1 身体的にも心理社会的にも安定した時期である。
- 2 女子は、肩幅が広がる。
- 3 男子は、骨盤が拡大する。
- 4 抽象的・論理的思考能力が発達する。

[問題 80]

気管支喘息について、誤っているのはどれか。

- 1 発作治療薬には短時間作用性 β_2 刺激薬、テオフィリン薬、ステロイド薬がある。
- 2 慢性の気道炎症を特徴とする。
- 3 咳嗽は、夜間から早朝にかけて出現することが多い。
- 4 拘束性換気障害を認める。

[問題 81]

慢性閉塞性肺疾患（COPD）の患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 咳、痰、労作性呼吸困難などの症状を観察する。
- 2 胸式呼吸を勧める。
- 3 感染予防のために、含嗽、手洗いをを行うように指導する。
- 4 禁煙の指導をする。

[問題 82]

空気感染をする感染症として、正しいのはどれか。

- 1 流行性耳下腺炎
- 2 麻疹
- 3 日本脳炎
- 4 梅毒

[問題 83]

感染症が疑われる患者の検査時の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 抗生物質投与前に検体を採取する。
- 2 検体を取り扱うときは、手袋を着用する。
- 3 尿検査では、細菌が十分に増殖した2～3時間後に検査室へ届ける。
- 4 喀痰は、うがいをした後に採取する。

[問題 84]

血液・造血器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 再生不良性貧血は、白血球、赤血球、血小板のすべてが減少する。
- 2 特発性血小板減少性紫斑病の急性型は、自然に治癒することが多い。
- 3 ヒトT細胞白血病ウイルスI型（HTLV-1）は、母子感染や性行為で感染する。
- 4 慢性リンパ性白血病では、フィラデルフィア染色体が確認される。

[問題 85]

化学療法を受ける造血器腫瘍患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 化学療法後、1～2週間で骨髄抑制が起こるので、注意深い全身の観察が必要となる。
- 2 高性能微粒子フィルター（ヘパフィルター）設置の個室で管理する基準は、白血球数 $500/\mu\text{L}$ 以下である。
- 3 脱毛しても、髪が再び生えてくることを説明し、毛髪の散乱を防ぐ。
- 4 排便時の努責による出血予防のために、排便コントロールが必要である。

[問題 86]

次のうち、正しい組合せはどれか。

- 1 結節性動脈周囲炎 _____ ゴットロン徴候
- 2 多発性筋炎 _____ 腎障害
- 3 関節リウマチ _____ 中枢神経障害
- 4 強皮症 _____ レイノー現象

[問題 87]

気管支喘息患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 アレルゲンを除去するため、環境調整を行う。
- 2 禁煙を徹底させる。
- 3 誤嚥を避けるために、水分摂取を控える。
- 4 外気温と室温の温度差に注意し、温度管理を行う。

[問題 88]

次のうち、誤っている組合せはどれか。

- a 帯状疱疹は、免疫力が低下した場合に起こりやすい。
- b 第1度（I度）熱傷では、熱傷が皮下組織に達する。
- c アトピー性皮膚炎は、遺伝的素因に基づく疾患である。
- d 落葉状天疱瘡は、ニコルスキー現象が陽性である。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 89]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 帯状疱疹患者の安静保持のため、シャワー浴を避ける。
- 2 掻痒感のある患者の症状緩和のため、皮膚を軽く叩くよう伝える。
- 3 足白癬のある患者は、足拭きマットやスリッパを共有しない。
- 4 熱傷患者の包帯交換は、感染予防のため無菌操作で行う。

[問題 90]

循環器疾患とその症状について、誤っている組合せはどれか。

- 1 左心不全 _____ 呼吸困難
- 2 右心不全 _____ 静脈怒張
- 3 解離性大動脈瘤 _____ 発疹
- 4 心筋炎 _____ 発熱

[問題 91]

心不全患者について、誤っているのはどれか。

- 1 体位をファーラー位（ファウラー位）とし、換気量の増加を図る。
- 2 心筋の収縮力を弱めるため、ジギタリスが使用される。
- 3 心負荷軽減のため、活動や水分摂取量を制限する。
- 4 浮腫（むくみ）があるときは、皮膚を傷つけないように清拭を行う。

[問題 92]

糖尿病の慢性合併症について、誤っているのはどれか。

- 1 腎症
- 2 神経障害
- 3 粘液水腫
- 4 網膜症

[問題 93]

糖尿病患者の看護・指導について、誤っているのはどれか。

- 1 インスリン自己注射の部位は、腹部・上腕・大腿・殿部などである。
- 2 糖尿病性腎症がある場合は、塩分制限、高たんぱく食とする。
- 3 合併症がある場合、激しい運動は避けた方がよい。
- 4 足に傷や鶏眼（うおのめ）・胼胝（たこ）などをみつけた際は、放置しないよう指導する。

[問題 94]

意識障害について、誤っている組合せはどれか。

- 1 傾眠 _____ 呼びかけなどの軽い刺激で容易に覚醒する。
- 2 昏睡 _____ 強い痛覚刺激を与えても反応しなくなる。
- 3 せん妄 _____ 意識障害はないが精神的興奮状態を伴ったり幻覚症状が現れる。
- 4 ジャパンーコーマスケール _____ 覚醒しているが自分の名前・生年月日（JCS）I-3 と言えない。

[問題 95]

頭痛のある患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 頭蓋内圧亢進による場合は、頭蓋内圧を下げるため頭部を低めに保つ。
- 2 頭痛時は、うす暗く静かな環境に整える。
- 3 努責を避けるため緩下薬などで排便のコントロールをする。
- 4 患者の訴えを傾聴し、不安の軽減に努める。

[問題 96]

膠原病の患者の看護について、正しいのはどれか。

- 1 レイノー現象の症状緩和のために冷罨法を行う。
- 2 副腎皮質ステロイド薬は自覚症状に応じて服用量を変更するよう指導する。
- 3 急性期から早期回復に向けて適度な運動を勧める。
- 4 関節リウマチでは、荷物は手に提げずに、肩や腕にかけるよう指導する。

[問題 97]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 泌尿器疾患でも腹痛はみられる。
- 2 黄疸とは、血中のビリルビンが増加し、皮膚や粘膜、眼球結膜が黄染した状態をいう。
- 3 腹膜炎による腹水は、滲出液である。
- 4 吐血とは、肺や気道からの出血である。

[問題 98]

クローン病について、正しいのはどれか。

- 1 高齢者に多い疾患である。
- 2 消化管のいずれの部位にも炎症がみられる。
- 3 体重増加がみられる。
- 4 急性憎悪期は、低脂肪、低たんぱく食とする。

[問題 99]

胃切除後の食事指導について、正しいのはどれか。

- 1 食事は1回量を多くするよう説明する。
- 2 食後は30分程度横になるように勧める。
- 3 食事は栄養価の低いものがよいと説明する。
- 4 食事の回数を増やすよう説明する。

[問題 100]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 更年期とは、一般的に閉経前後の約20年間をいう。
- 2 女性不妊の原因には、卵管障害、排卵障害、子宮の障害などがある。
- 3 原発性無月経とは、20歳になっても初経がない場合と定義されている。
- 4 後天性免疫不全症候群（AIDS）は、性感染症に含まれない。

[問題 101]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス感染が関与する。
- 2 卵巣がんは、初期から性器出血や帯下などの自覚症状が出現する。
- 3 卵巣がんは、閉経期前後に好発する。
- 4 卵巣の良性腫瘍の場合は、生殖能力を維持する目的で保存的手術療法が主体になる。

[問題 102]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 不感蒸泄は、ヒトが感じることなく失われる水分のことをいう。
- 2 浮腫（むくみ）とは、細胞内液が異常に貯留した状態をいう。
- 3 低張性脱水は、下痢や嘔吐による消化液の喪失などで生じる。
- 4 生体は、体重の約 60%に相当する体液を持っている。

[問題 103]

ネフローゼ症候群患者について、正しいのはどれか。

- 1 浮腫（むくみ）が高度の場合は、循環血液量が増加して末梢冷感になりやすい。
- 2 6g~10g/標準体重 kg のたんぱく量に保つ。
- 3 薬物療法として、副腎皮質ステロイド薬や免疫抑制薬が用いられる。
- 4 病期や腎機能の程度により、日常生活の制限が異なることはない。

[問題 104]

骨肉腫について、誤っているのはどれか。

- 1 骨に原発する悪性腫瘍の中で最も多い。
- 2 好発部位は、大腿骨遠位や脛骨近位である。
- 3 患者の約 3分の2が 20 歳以上の成人である。
- 4 治療法では、化学療法が有効である。

[問題 105]

乳がんについて、正しいのはどれか。

- 1 日本人の罹患率、死亡率は減少傾向にある。
- 2 初経が遅く出産数が多いものは、罹患するリスクが高い。
- 3 好発年齢は 20~30 歳代である。
- 4 治療成績は、5 年生存率で約 90%である。

[問題 106]

変形性股関節症患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 疼痛は運動時、荷重負荷時に増強することを説明する。
- 2 体重のコントロールを指導する。
- 3 人工股関節置換術後 3 週間は、患肢の内転・内旋位を取るよう説明する。
- 4 退院後は、イスやベッドを使うなど、洋式の生活を勧める。

[問題 107]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 眼圧検査は、緑内障の診断や経過観察で重要な検査である。
- 2 屈折検査は、レフラクトメーターやケラトメーターが用いられる。
- 3 眼底検査は、網膜や視神経乳頭などを観察する検査である。
- 4 視力検査は、通常わが国では2 m離れた位置の視力表を用いている。

[問題 108]

白内障手術について、誤っているのはどれか。

- 1 入院手術が必要である。
- 2 手術後は、2時間の床上安静が必要である。
- 3 手術後は片眼帯になるため、平衡感覚が取りにくくなる。
- 4 手術後の合併症を予防するには、点眼と内服薬投与が必要である。

[問題 109]

透析を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。

- 1 血液透析・腹膜透析ともに、透析施設に通う必要があることを説明する。
- 2 透析期間中の体重増加の目安は、目標体重の10%であることを説明する。
- 3 シャント音の確認を行う必要性を説明する。
- 4 身体障害者手帳は、申請しなくても交付されることを説明する。

[問題 110]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 上顎がんでは、鼻閉、鼻漏など慢性副鼻腔炎に似た症状が出ることが多い。
- 2 喉頭がんの発生は、男性より女性の方が多い。
- 3 鼻咽頭線維腫は、良性腫瘍で思春期の男性に多い。
- 4 下咽頭がんは、喫煙や飲酒との因果関係がみられる。

[問題 111]

次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 口腔疾患は、乳幼児から老年期まで幅広い層にみられる。
- 2 う歯（むし歯）は、わが国の約半数の者が罹患している。
- 3 歯科領域の悪性腫瘍は、広範囲な組織の切除手術を必要とする。
- 4 近年、歯科矯正治療は30～40歳代が増加している。

[問題 112]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 歯垢（プラーク）は、食物の食べ残しが集まったものである。
- 2 歯周病の別名を、歯肉炎という。
- 3 口臭に悩む患者は、近年減少傾向にある。
- 4 う歯（むし歯）の好発部位は、歯の小窩・裂溝、歯間隣接部、歯頸部である。

[問題 113]

高齢者の便秘に対する援助について、正しいのはどれか。

- 1 腹部マッサージは、大腸の走行に沿って、反時計回りに円を描くように行う。
- 2 低脂肪食を摂取するように指導する。
- 3 冷たい水や牛乳を摂取するように指導する。
- 4 安静にするように指導する。

[問題 114]

高齢者の手術後の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 せん妄となる要因は、手術による侵襲、睡眠障害などである。
- 2 廃用症候群を予防するため、早期離床を行う。
- 3 創部痛は、痰の喀出困難の要因となる。
- 4 心不全予防のため、弾性ストッキングを着用する。

[問題 115]

高齢者の大腿骨頸部骨折について、正しいのはどれか。

- 1 男性に多い。
- 2 人工骨頭置換術後は、脱臼予防のため内転・内旋位とする。
- 3 ベッド上安静時から健側の運動を促す。
- 4 骨折の程度をあらわすガーデン分類は、3つに分類される。

[問題 116]

高齢者の心理的・精神的機能の変化について、誤っているのはどれか。

- 1 記銘力や計算能力は、衰えにくい。
- 2 喪失体験から心理的不安定になりやすい。
- 3 結晶性知能は、衰えにくい。
- 4 自己中心性や猜疑心が発現しやすい。

[問題 117]

褥瘡予防について、正しいのはどれか。

- 1 ブレーデンスケールは、得点が高いほど褥瘡発生の危険性が高い。
- 2 体位変換は6時間ごとに行う。
- 3 座位では、90度となるような姿勢とする。
- 4 体位変換は、クッションなどを用いて90度側臥位とする。

[問題 118]

認知症高齢者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 排泄は、タイミングを見計って誘導する。
- 2 入浴を嫌がる時には、患者のペースに合わせて段階的にケアを行う。
- 3 見当識障害があるため、月日や季節の話題は避ける。
- 4 口に入れると危険なものは、高いところや気づかれないところに移動する。

[問題 119]

高齢者の脱水について、誤っているのはどれか。

- 1 早期発見しやすい。
- 2 脱水を起こしやすい原因の一つは、細胞内液の減少である。
- 3 症状として、元気のなさがあげられる。
- 4 頻尿を心配し、水分摂取しないことが要因となる。

[問題 120]

廃用症候群の症状について、誤っているのはどれか。

- 1 骨粗鬆症
- 2 高血圧
- 3 うつ傾向・抑うつ
- 4 筋萎縮

[問題 121]

尿失禁とその症状について、誤っている組合せはどれか。

- 1 反射性尿失禁 —— 激しい尿意が表れ、我慢できずに尿が漏れる。
- 2 機能的尿失禁 —— 排尿機能は正常だが排尿動作に時間を要し、尿が漏れる。
- 3 溢流性尿失禁 —— 尿がスムーズに出ず、膀胱に満ちた尿が少しずつ漏れる。
- 4 腹圧性尿失禁 —— 咳嗽、くしゃみ、荷物の持ち上げにより、尿が漏れる。

[問題 122]

高齢の呼吸器感染症患者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 インフルエンザウイルス感染症患者は、専用病室（個室）で療養してもらう。
- 2 発熱・呼吸困難のある急性期には、安静・安楽の保持に努める。
- 3 治療中は、絶飲食とする。
- 4 口腔内の清潔を保つ。

[問題 123]

パーキンソン病患者の看護について、正しい組合せはどれか。

- a 症状の進行と障害レベルを、ヒューージョーンズ分類で評価する。
- b 患者や家族に、服薬時間と症状を服薬記録（服薬ノート）へ記載してもらう。
- c 自律神経症状として、下痢を起こしやすいことを説明する。
- d 転倒・外傷予防のために、居室の環境整備を行う。

- 1 aとb 2 aとc 3 bとd 4 cとd

[問題 124]

加齢に伴う身体機能の変化について、誤っているのはどれか。

- 1 唾液分泌量は減少する。
- 2 血糖値は低下する。
- 3 腎血流量は減少する。
- 4 毛様体の調節機能は低下する。

[問題 125]

認知症の中核症状として、誤っているのはどれか。

- 1 失認
- 2 実行機能障害
- 3 喪失体験
- 4 見当識障害

[問題 126]

入院を必要とする高齢者の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 入院時、トイレなどの病棟内の設備は、患者と一緒にその場所へ行き、説明する。
- 2 症状の観察は、日常生活の援助を通して細かに行う。
- 3 患者のできることに注目し、持っている能力を発揮しながら自立を促す。
- 4 退院支援は、退院日が決まってから始める。

[問題 127]

妊娠末期の母体の変化について、誤っているのはどれか。

- 1 甲状腺や下垂体前葉などの内分泌器官が肥大する。
- 2 胸式呼吸となり、呼吸数が増加する。
- 3 腹部の増大に伴い、腰椎の前彎が強くなる。
- 4 血管抵抗が上昇し、拡張期血圧は上昇する。

[問題 128]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 分娩の開始は産徴がみられたときである。
- 2 子宮口全開大前の破水を前期破水という。
- 3 肛門括約筋の損傷を生じた会陰裂傷は、第3度に分類される。
- 4 胎盤娩出後より2時間経過までを分娩第3期とよぶ。

[問題 129]

産褥期の身体的変化について、正しいのはどれか。

- 1 後陣痛は、経産婦より初産婦の方が強い。
- 2 産褥5日目の悪露の色調は、黄色である。
- 3 分娩直後から成乳が分泌される。
- 4 子宮は約6週間かけて非妊時の状態に戻る。

[問題 130]

授乳法について、誤っているのはどれか。

- 1 児と母親の腹部が向かい合い、接するように抱く。
- 2 帝王切開後は、フットボール抱きの方が安楽に授乳できる。
- 3 乳頭のみをくわえるように児の口を浅く吸着させる。
- 4 褥婦の疲労が強い場合は、添え乳を行う。

[問題 131]

褥婦の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 体調がよければ、産褥1日目からシャワー浴を勧める。
- 2 子宮復古を促進するため、早期離床を促す。
- 3 睡眠や休息がとれるように環境を整える。
- 4 受胎調節が必要な場合、月経が再開したら行う。

[問題 132]

新生児の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 体温喪失を防ぐため、羊水や血液をすばやく拭き取る。
- 2 アプガースコアとは、出生時の状態を評価するものである。
- 3 新生児の取り違えを防ぐため、2つ以上の方法を用いて識別する。
- 4 仮性メレナ予防のため、ビタミンK製剤を投与する。

[問題 133]

小児のバイタルサイン測定について、誤っているのはどれか。

- 1 年少児の腋窩検温では、体温計を腋窩に密着できるように身体を支える。
- 2 脈拍は、安静時、睡眠時に測定する。
- 3 呼吸は、胸部、腹部の動きを見て安静時に1分間測定する。
- 4 血圧測定では、上腕の1/2を覆うサイズのマンシェットを選択する。

[問題 134]

小児の予防接種について、誤っているのはどれか。

- 1 四種混合ワクチンの初回接種時期は、生後1か月からである。
- 2 水痘ワクチンは定期接種である。
- 3 ロタウイルスワクチンは任意接種である。
- 4 BCGの接種回数は1回である。

[問題 135]

小児のプレパレーション（心の準備）について、誤っているのはどれか。

- 1 心理的混乱を最小限にする。
- 2 対処能力を発揮できる環境に整える。
- 3 子どもに対する支援であり、両親（家族）は含まない。
- 4 子どもが感情を表現できるように関わる。

[問題 136]

小児の疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 ネフローゼ症候群は、たんぱく尿を認める。
- 2 熱性けいれんは、発熱初期に起こりやすい。
- 3 気管支喘息の発作時の体位は、仰臥位とする。
- 4 アトピー性皮膚炎では、皮膚の清潔を保つ。

[問題 137]

小児の成長・発達について、正しいのはどれか。

- 1 4～5か月で、モロー反射が消失する。
- 2 6か月頃になると、大泉門が閉鎖する。
- 3 1歳頃で、寝返りができる。
- 4 3歳頃には、身長が120 cmとなる。

[問題 138]

小児の循環器疾患の看護について、誤っているのはどれか。

- 1 ファロー四徴症では、啼泣や運動に伴うチアノーゼの増悪に注意する。
- 2 ファロー四徴症の無酸素発作時には、仰臥位をとる。
- 3 心室中隔欠損症では、呼吸状態、発汗、体重増加の程度を観察する。
- 4 川崎病は、回復期に指先の落屑があるため、傷をつくらないように注意する。

[問題 139]

抗精神病薬の有害作用（副作用）のうち、誤っている組合せはどれか。

- 1 パーキンソン症候群 ————— 流涎
- 2 悪性症候群 ————— 高熱
- 3 アカシジア ————— 静座不能
- 4 遅発性ジスキネジア ————— 随意運動

[問題 140]

心理テストについて、誤っている組合せはどれか。

- 1 性格検査 ————— ロールシャッハ・テスト
- 2 認知症評価 ————— 改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）
- 3 知能検査 ————— 鈴木ービネー法
- 4 精神作業検査 ————— ウェクスラー法

[問題 141]

思考の障害のうち、誤っているのはどれか。

- 1 滅裂思考
- 2 思考途絶
- 3 観念奔逸
- 4 思考吹入

[問題 142]

次のうち、正しいのはどれか。

- 1 神経性無食欲症は、男性に多い疾患である。
- 2 適応障害とは、自分で間違っているとわかっているのにやめられない障害である。
- 3 パニック障害とは、反復する重症の意識障害を主症状とする。
- 4 強迫性障害の症状には、強迫観念や強迫行為がある。

[問題 143]

興奮状態として、誤っているのはどれか。

- 1 気分高揚
- 2 多弁
- 3 カタレプシー
- 4 不眠

[問題 144]

児童虐待の種類として、誤っているのはどれか。

- 1 身体的虐待
- 2 心理的虐待
- 3 リビドー
- 4 ネグレクト

[問題 145]

統合失調症の症状で、誤っているのはどれか。

- 1 まとまりのない発語（滅裂、話の脱線）
- 2 無価値観（無価値感）
- 3 幻覚
- 4 妄想

[問題 146]

てんかん患者の看護について、正しい組合せはどれか。

- a 抗てんかん薬は、発作時に内服するよう指導する。
- b 睡眠不足や過労は、発作の誘因となるので避けるように指導する。
- c けいれん発作時の気道確保は、発作が終了してから行う。
- d けいれん発作時は、下顎の脱臼を防ぐために下顎部を軽く抑える。

- 1 a と b
- 2 a と c
- 3 b と d
- 4 c と d

[問題 147]

防衛機制のうち、昇華の説明について正しいのはどれか。

- 1 破壊的衝動をスポーツや文化的な活動に向ける。
- 2 怒りの感情を直接相手にぶつせず、物にあたる。
- 3 嫌いな人に対して、必要以上に丁寧に接する。
- 4 目標とする人などの状況を自分のことのように思う。

[問題 148]

精神保健福祉法における入院について、2名以上の精神保健指定医の診察結果が一致しなければならぬ入院形態はどれか。

- 1 医療保護入院
- 2 応急入院
- 3 措置入院
- 4 任意入院

[問題 149]

次のうち、正しい組合せはどれか。

- 1 就労移行支援事業所 ————— 就労経験がない人は対象外である。
- 2 アウトリーチ（訪問支援） —— 医療や福祉サービスにつながった段階で支援する。
- 3 包括型地域生活支援（ACT） —— 多職種によるチームが支援を提供する。
- 4 就労継続支援事業所 ————— 一般企業への就労に向けた訓練は行わない。

[問題 150]

次のうち、誤っている組合せはどれか。

- 1 支持的精神療法 —— 個人面接から外部環境への介入までを含む精神療法である。
- 2 集団精神療法 ————— 心理教育、社会生活（生活）技能訓練（SST）がある。
- 3 光（刺激）療法 —— 躁病に効果がある。
- 4 認知療法 ————— うつ病やパニック障害などに効果がある。

《 記 入 例 》

氏 名	山 形 准 子	} の場合
受験番号	7 5 3	

山形県 准看護師試験答案用紙

試験日		31年2月6日		←試験年月日を記入
学校名				←学校名を記入
氏名	フリガナ	ヤマ ガタ	ジュン コ	←フリガナを記入
		山 形	准 子	←氏名を漢字で記入

受験番号

7	0	1	2	3	4	5	6	●	8	9	←百の位
5	0	1	2	3	4	●	6	7	8	9	←十の位
3	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9	←一の位

↑
番号を記入

該当部分をマーク